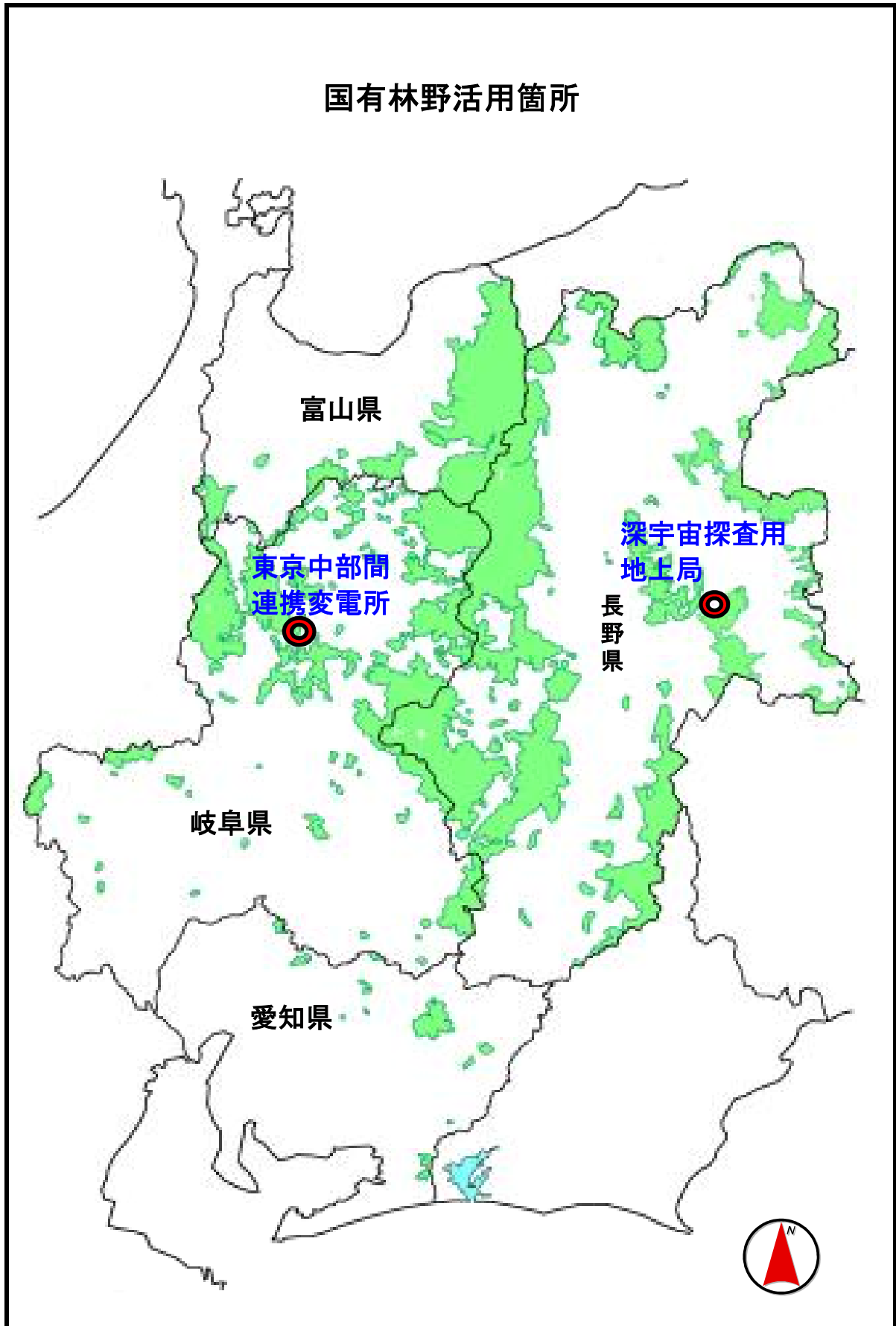


(参考資料：貸付関係)



東京中部間連携変換所の建設について

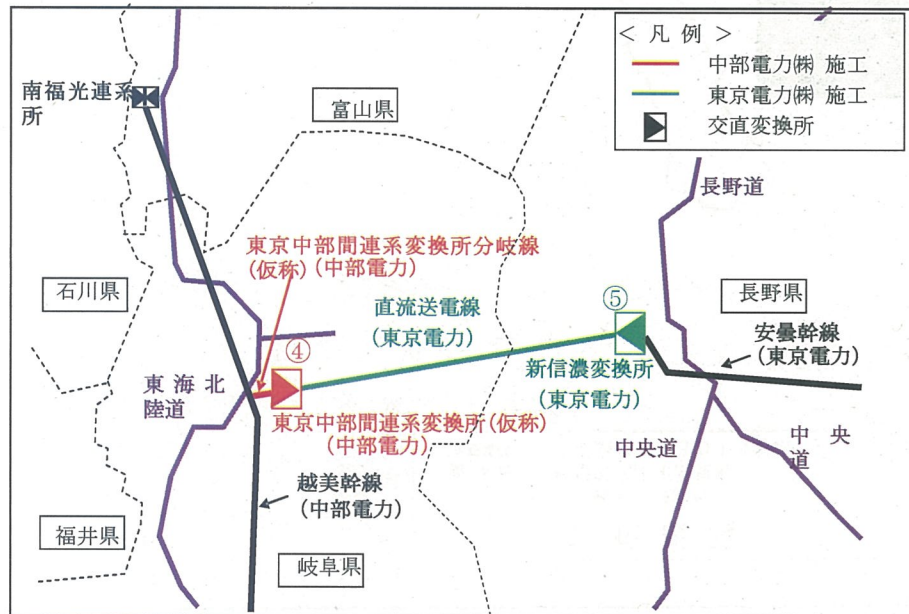
概要

東日本大震災において全国規模で電力の供給力が大幅に不足したことを受け、岐阜県高山市から長野県山形村までの約90kmの送電網を構築するもので、平成32年度に運用開始を目指している。

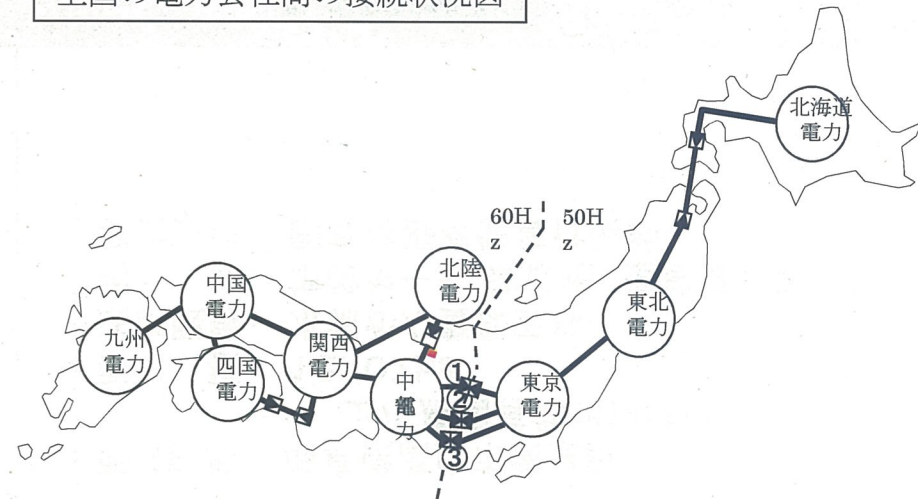
この事業は一般電気事業者9社により取り組まれているが、交流直流変換施設(高山FC)は中部電力株式会社が、高山FCから新信濃周波数変換所までは東京電力株式会社が施設建設を担当している。

今般の東京中部間連携変換所の建設はその送電網の一部である。

工事計画図



全国の電力会社間の接続状況図



建設予定地の概要

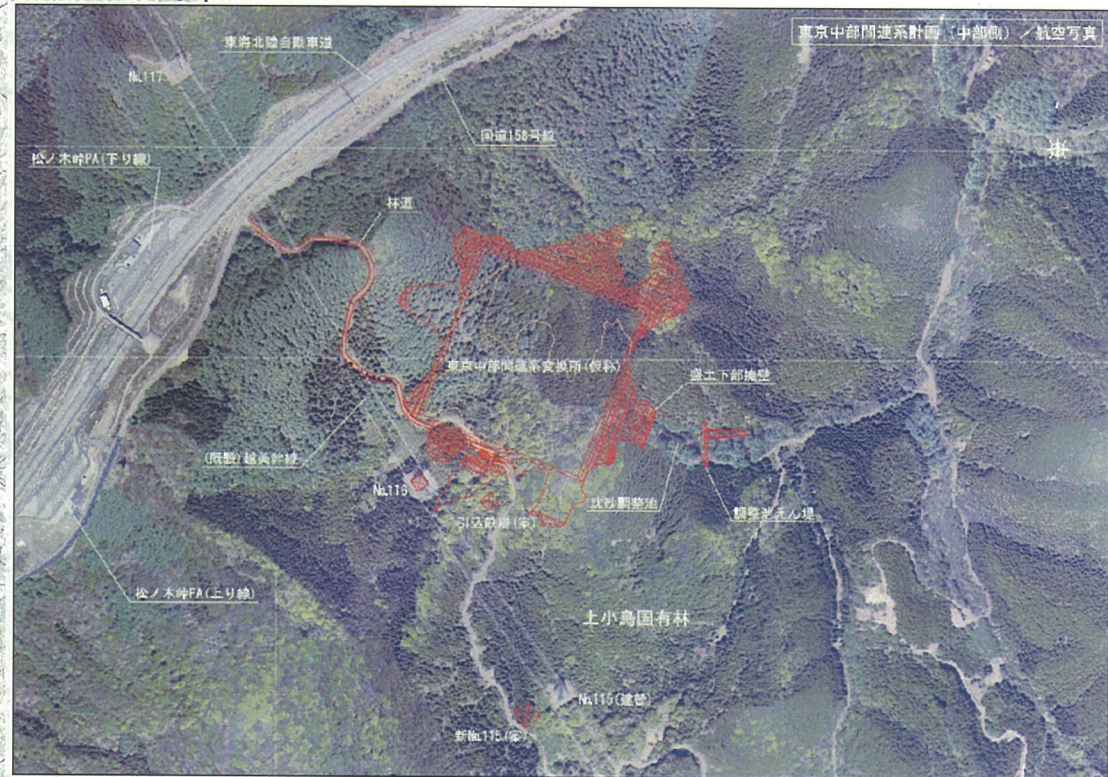
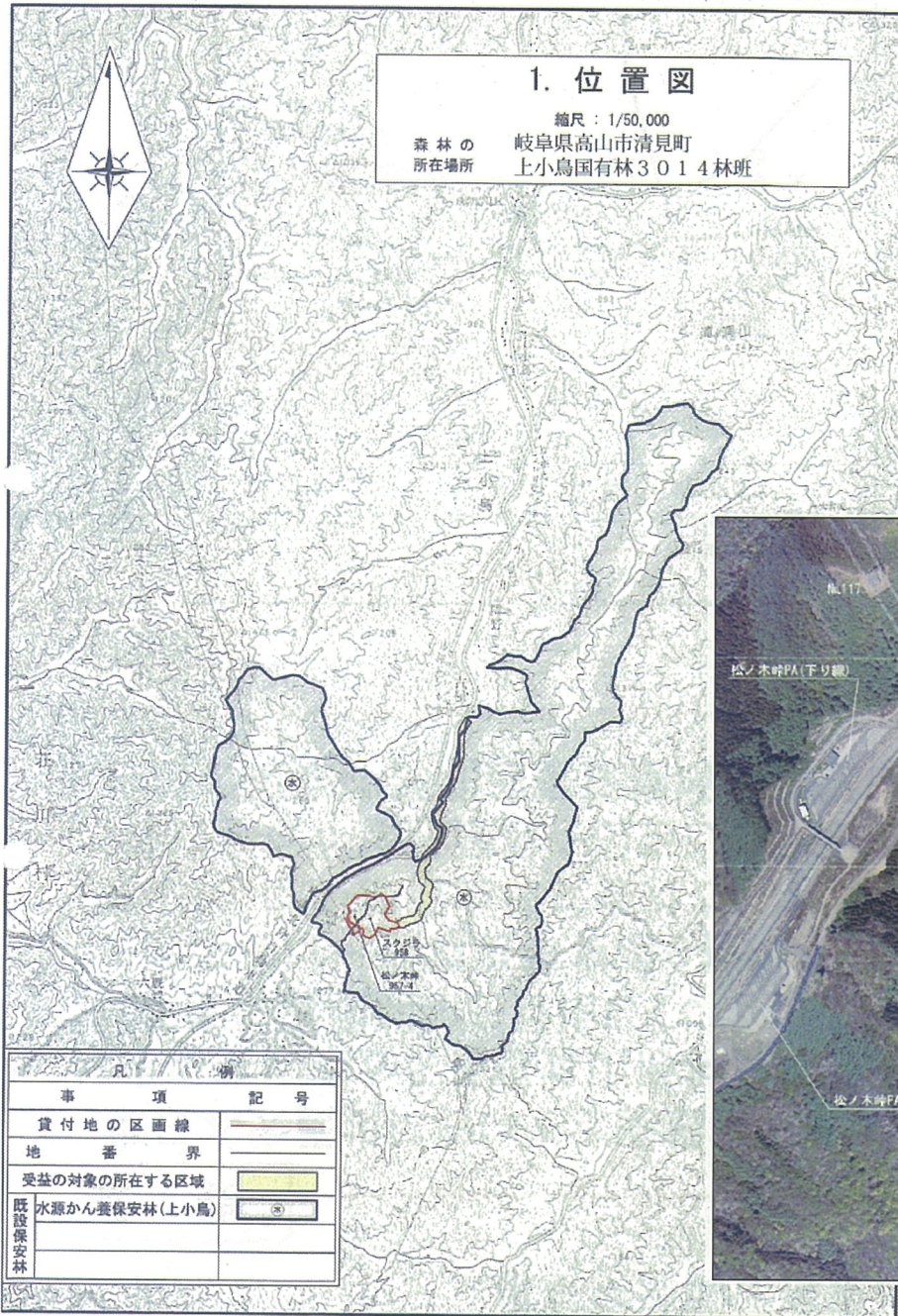
所在地：岐阜県高山市清見町
 上小鳥国有林3014林班

面積：12.07ha

法制限等：水源かん養保安林

用途：施設ヤード、沈砂地、造成森林等

契約方法：国有林野有償貸付契約



深宇宙探査用地上局の新設について

目 的

現臼田宇宙空間観測所の64mパラボラアンテナ(以下「現臼田局」という。)は、我が国唯一の地球以外の天体に向かう深宇宙探査用追跡管制地上局として30有余年運用を行っている。その間に深宇宙探査ミッションの高度化は進み、一段と高い性能と信用性が地上局に問われていることから、新たな深宇宙探査用地上局を整備し、はやぶさ2等の探査ミッションの確実な運用への提供を目的としている。(※1)

建設予定地の概要

設置主体: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(通称「JAXA」)
所在地: 長野県佐久市前山字立科 立科国有林116り林小班ほか
面積: 約8.03ha
法制限等: なし
用途: 造成用地敷、残土置場敷、スカイライン敷(※2)
契約方法: 国有林野有償貸付契約を予定

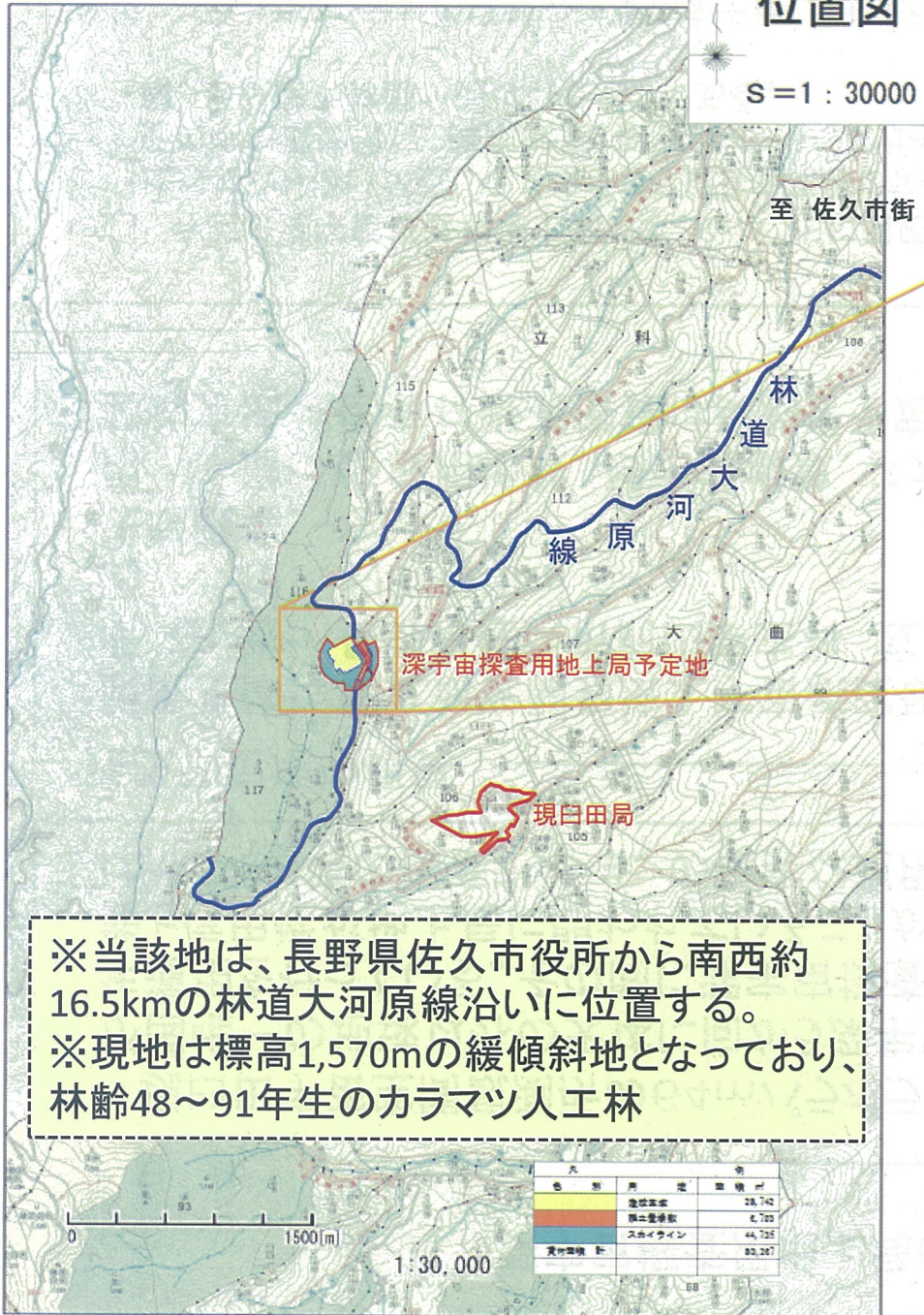


※1 今回の深宇宙探査用地上局では、Kaバンドに対応する施設の設置を予定している。KaバンドはXバンドに比べて取り扱いが難しく、さまざまな条件を克服しなくてはならないため、国内での候補地は限られている。その中で電波環境、降雨減衰、航空機ルート、スカイライン、整備及び維持管理、気象環境等で評価した結果、当該国有林野が選ばれたものである。

※2 パラボラアンテナの電波の送受信を干渉してしまう立木等の伐採エリア。

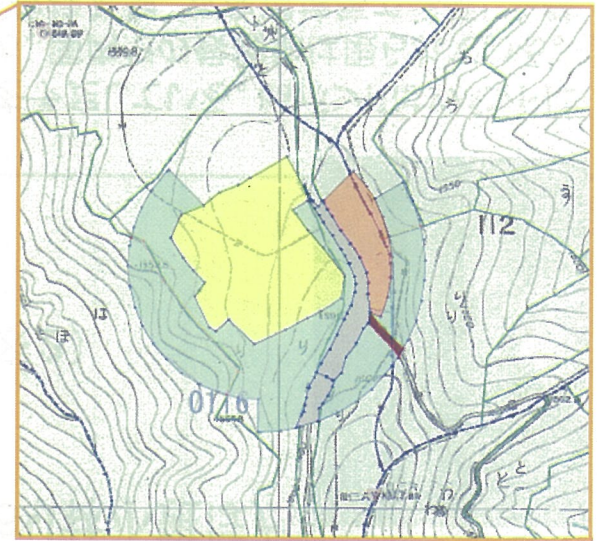
位置図

S=1:30000



※当該地は、長野県佐久市役所から南西約16.5kmの林道大河原線沿いに位置する。
 ※現地は標高1,570mの緩傾斜地となっており、林齢48～91年生のカラマツ人工林

色	用途	面積㎡
黄色	建設予定地	29,742
赤色	限設置地	6,700
青	スカイライン	44,735
合計	資料提供 計	81,177



※イラストはイメージ



建設予定地全景